

平成21年4月1日
住友生命保険相互会社

平成21年度入社式 社長あいさつ(抜粋)

住友生命保険相互会社(社長 佐藤義雄)は400名(総合職員259名、一般職員141名)の新入職員を迎え、4月1日に入社式を行いました。以下に社長あいさつの要旨を紹介します。

創業の志

「住友生命百年史」を紐解くと、この百年の間に様々な試練に直面し、それを乗り越える過程で逆に大きく飛躍した会社であることがわかる。その原点にあるのは創業時の「困難を乗り越えて理想の会社を創ろう」という志である。この志はその後も脈々と受け継がれ、当社の発展の原動力となってきた。

皆さんへの期待

今、世界は「百年に一度」と評されるほどの難局に直面しているが、私はこれを百年に一度のチャンスにしたいと決意している。そこで、未来を担う皆さんへの期待を三点お話ししたい。

- 一つ目は、「目の前の仕事をきちんとできる職員になる」
- 二つ目は、「過去にとらわれないフレッシュな視点で仕事を見直し続ける」
- 三つ目は、「自由な発想でスミセイの未来を拓く新しいビジネスを創造する」

「石臼に向かいながらも丘の上を見つめなければならない」という言葉があるが、皆さんも目の前の仕事に真摯に取り組みながら、志は高く、未来を見すえてほしい。そして、若々しい柔軟な発想と行動力で、イノベーションを巻き起こしてくれることを期待している。

おわりに ~凜として礎かたく~

社歌に「凜として礎かたく」という一節がある。「凜とした人」とは、原理原則や正しい倫理観に基づいて判断し、信念に従って行動する人である。真正直な仕事を貫く誇り高いスミセイ人であってほしい。そして「礎かたく」とは、会社存立の基盤である信用を固く守っていくと同時に、全社員一丸となって会社を発展させてほしいという先人から私達へのエールである。

本日共に住友生命に入社した同期との絆、配属された職場での上司や仲間との信頼の絆を大切に、一致協力して、会社の、そして皆さん自身の輝かしい未来を拓こう。

以上